



研究報告会

9月13日(金)に前期研究員の研究報告会を実施します。これまで研究した成果を対面(オンライン可)にて報告します。多くの方に参加、激励・アドバイスいただけたらありがたいです。お申し込みお待ちしております。



研究員	研究テーマ
喜屋武こども園 川村千秋	楽しさが広がり夢中になって遊ぶ 園児を育む
上田小学校 赤嶺英幸	持続可能な社会づくりを担う 児童の育成
伊良波小学校 大城竜二	全ての児童が運動の楽しさと喜びを 感じられる体育学習

小中自主参加講座

小中学校の先生方を対象にした2講座を開設しました。参加者は実践で活用できる具体的なヒントを紹介いただき、夏休み以降の教育活動に見通しをもち、目を輝かせていました。



9月の主な予定

2	月	教育相談～9/6(しののめ教室)
3	火	渡嘉敷いきいきキャンプ(しののめ教室)～9/5
11	水	幹事会
12	木	スタッフ会議(しののめ教室)
13	金	前期報告会・修了式
17	火	所長講話Ⅲ
19	木	職業人講話(しののめ教室)～9/20
24	火	後期研究員入所前研修
26	木	合同体育(しののめ教室)
		スタッフ会議(しののめ教室)
30	月	前期研究員退所

幼児教育研修

「幼児教育を取り巻く変化と幼児教育について」を主題に沖縄女子短期大学 講師 名渡山よし乃先生に講話いただきました。こどもを中心とした保育展開、振り返り、記録、指導計画の見直しの大切さを伝えていました。

<参加者感想>

・教育要領等に基づき「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けて子どもも保育者(教育者)も主体的に学び続けるために、やはり園内外研修を充実させなければならないと痛感しました。他の幼稚園や保育園、こども園の保育参観等を積極的に行っていきたい。

・こどもを中心とした園づくりは、やはり魅力的でした。今回のような研修をそれぞれの園が今後に繋げる意味からも横の連携がスムーズにできる仕組みづくりを期待したいです。

・こどものウェルビーイング、生きる力を育むための保育(幼児期にふさわしい生活)がいかに大切なことか再確認することができました。

「学校における保護者対応」

講師：琉球大学 教授 白尾裕志

<参加者感想>

- ・「ご心配おかけしました。すぐ確認します」職場で保護者対応に困っている同僚に伝えます。
- ・傾聴・受容・共感の姿勢で対応、組織体制が大事だと分かりました。
- ・普段からコミュニケーションに基づく「つながり」を意識していきたいです。

「学級リレーションづくり」

講師：早稲田大学 修士課程 仲里直美

<参加者感想>

- ・こどもの名前を呼び、声をかけることが有効とお話していたことに納得。一番大事な名前を呼んであげたい
- ・紹介していただいたアイスブレイクを定期的に、(楽しんで終わりではなく)目的をもって、「聞く態度よかったね」「うなずいて聞いている人いたね」等声かけを意識していきたいです。

非認知能力の育ちを支える幼児教育

「どうやったらできるのかな？」子どもの困り感に、大人はつい「こうするといいよ」と導いてしまいがちですが、幼児教育の現場では「そうだね？どうしたらいいのかな？」と、保育者も一緒に考え、子ども達に気づきを促しつつ子どもの主体性を尊重し、育ちを見据え密かに環境を整えていました。

下記URLまたは右記QRコードにて、子どもとの関わりのヒントをご覧くださいませ。

https://cedep.meclib.jp/cedepmext2021_brochure/book/index.html#target/page

